

概要

日程：令和6年5月19日～5月31日

訪問・視察内容：

- ・共同研究に係る現地校視察と意見交換
- ・研究助言者との協議
- ・スコットランド教育庁との協議、情報交換

訪問・視察先等：

小学校 3校

中等教育学校 3校

大学 ダンディー大学

政府機関 スコットランド教育庁 他

視察先学校

群馬・スコットランド共同研究対象校



クレイギー高校（中等教育6年）
（ダンディー）



ローズバンク小学校
（ダンディー）

OECDプロジェクト参加校



フレイザーバラ中等学校
（中等教育6年）
（アバディーンシャー）

スコットランド教育庁推薦校



ブレイス高校（中等教育6年）
（フォルカーク）



ウォレストン小学校
（フォルカーク）



トフィチェン小学校
（ウェスト・ロージアン）

スコットランド教育の概要

- ・ 1999年に教育に関する権限がイングランドの中央政府から移譲される。
- ・ 2010年から独自の教育カリキュラム（Curriculum for Excellence）を定める。

インクルーシブ教育「Additional Support Need(ASN)」の導入

2010年 平等法 障害だけでなく、様々な差別の禁止

2014年 教育法 すべての子どもに対する教育計画の策定

- ・ OECDが目指す未来の教育像を意識し、**認知能力と非認知能力が組み合わさった力を全ての教科において伸ばしていくことを目指している**ため、群馬県がこれから取組を進めていく上で、非常に参考になる。

成功する学習者

自信を備えた人



責任ある市民

効果的な貢献者 4

成功する学習者

(以下を備える)

- ・学習に対する**熱意とやる気**
- ・高い水準に達成する決意
- ・新しい考え方やアイデアを受け入れる

(そして以下のことができる)

- ・読み書き、コミュニケーション、数的スキルを使いこなす
- ・学習にテクノロジーを活用する
- ・創造的かつ自主的に考える
- ・自主的に、またグループの一員として学ぶ
- ・合理的な評価をする
- ・新しい状況において、さまざまな種類の学習をリンクさせ、応用する

責任ある市民

(以下を備える)

- ・他人を**尊重する**
- ・政治的、経済的、社会的、文化的な生活に責任を持って参加することへのコミットメント

(そして以下のことができる)

- ・世界と世界の中のスコットランドの位置付けについての知識と理解を深める
- ・異なる信条や文化を理解する
- ・情報に基づいた選択と決定をする
- ・環境問題、科学技術問題を評価する
- ・複雑な問題に対して、十分な情報に基づいた倫理的な見方を身に付ける

自信を備えた人

(以下を備える)

- ・自尊心
- ・身体的、精神的、感情的な幸福感
- ・確かな価値観と信念

(そして以下のことができる)

- ・他者と関わり、自己を管理する
- ・健康的で活動的なライフスタイルを追求する
- ・自己認識する
- ・自分の信念や世界観を確立し、それを伝える
- ・できるだけ自立した生活を送る
- ・リスクを評価し、十分な情報に基づいた意思決定を行う
- ・さまざまな活動領域で成功を収める

効果的な貢献者

(以下を備える)

- ・**進んで取り組もうとする姿勢**
- ・レジリエンス
- ・自立

(そして以下のことができる)

- ・さまざまな方法、さまざまな場面でコミュニケーションをとる
- ・十分な情報に基づいた選択と決断をする
- ・パートナーシップとチームワークで取り組む
- ・率先垂範する
- ・批判的思考で新しい文脈に対応する
- ・創造、発展させる
- ・問題を解決する

スコットランドの教育の目指すもの（2023 National Improvement Framework）

【目標】学習者の卓越性と公平性の達成

- ・すべての子供と若者が、識字能力と計算能力の最高水準、および成功する学習者、自信のある個人、責任ある市民、効果的な貢献者として持続可能な未来を形成するために必要な価値観、態度、知識、スキルを確実に達成できるようにします。
- ・貧困に関連する達成格差の解消に特に重点を置き、その背景や共通の保護特性に関係なく、すべての子どもと若者が成功する機会を平等に持てるようにする。

【優先事項】

- ① 全ての子どもと若者の人権とニーズを教育の中心に置く
- ② 子どもと若者の健康と福祉の改善
- ③ 子ども・若者の最も有利な立場にある者と最も不利な立場にある者との間の達成格差を埋める
- ④ 全ての若者のスキル及び持続的で前向きな学卒後の方向性の向上
- ⑤ 達成度（特に識字能力と計算能力）の向上

【Drivers of Improvement】

- ① 学校、早期学習と保育のリーダーシップ
- ② 教員や教育実践者のプロ意識
- ③ 保護者のinvolvementとengagement
- ④ カリキュラムと評価
- ⑤ 学校と保育の改善
- ⑥ 教育の実施状況に係る情報提供

視察を終えて（所感）

○すべての子どもと若者が、教育を最大限に受けるための枠組みや環境が提供されている

- 教育関係者だけでなく、国内全体の共通理解を図ろうとしている
どのような人を目指すのか（CfE）を地域全体で支援している
- 子どもの個々のニーズに応じて支援している
 - ・個別学習
 - ・選択授業
 - ・PBL
 - ・バディ制（高校3年生が中学1年生の相談役）
 - ・ハウス制（入学後縦割りのグループに所属）

Curriculum for Excellence (CfE) の広がり

スコットランド教育庁



カウンシル
(地方自治体の評議会)

カウンシル

...



学校

学校

学校

...

政府の各局から独立した執行機関の一つであるスコットランド教育庁の定めたCfEを各学校まで普及させている

学校教育の改善に向けてCfEとの関連を掲示



トフィチェン小学校

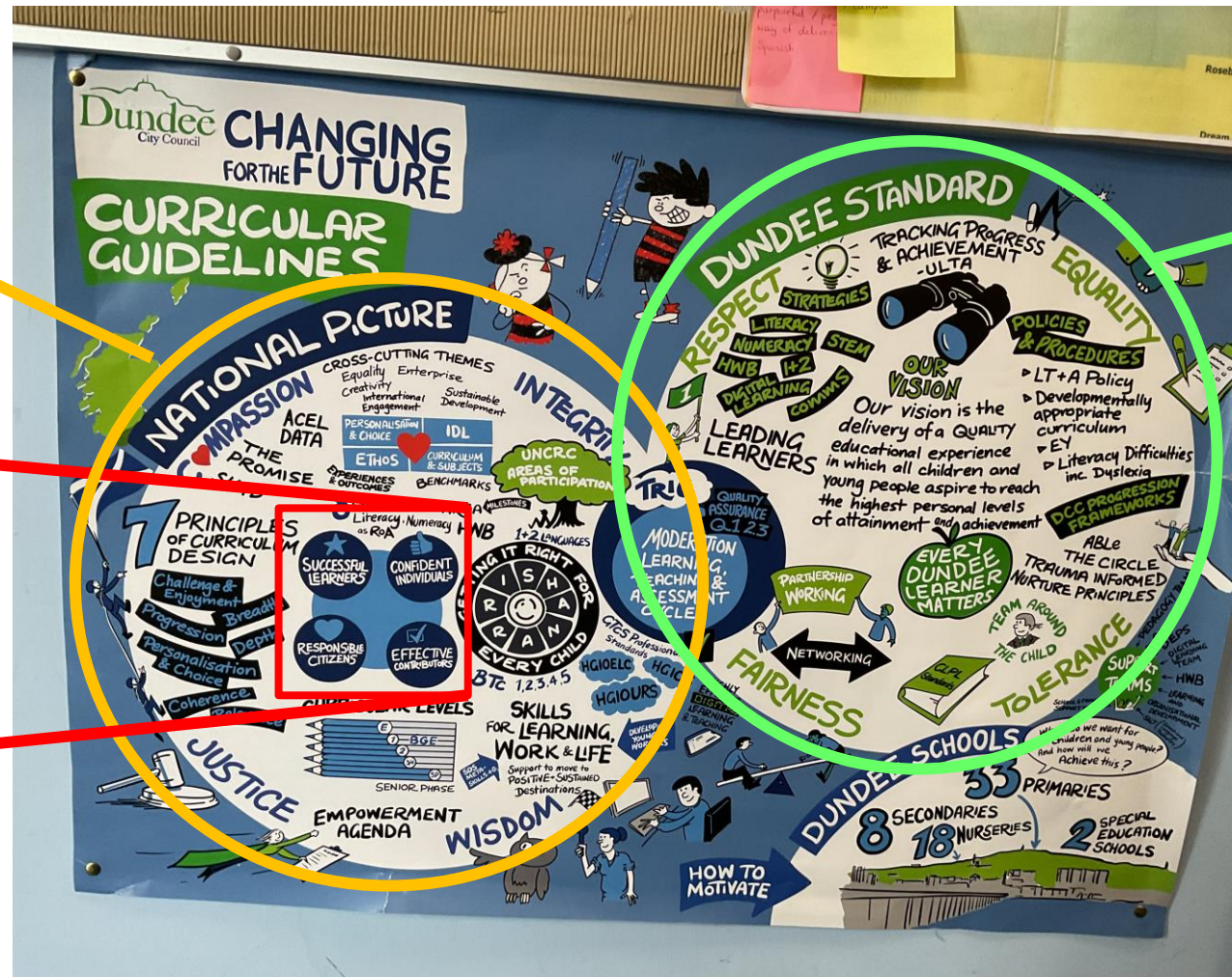
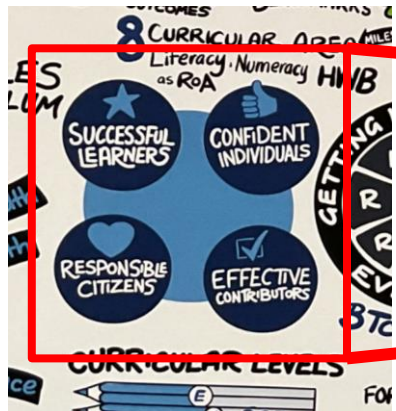
学校内外において共有
(保護者や地域と共通理解を図る
ために学校フェンスにも掲示)



Scotland 視察等報告

CfEをもとに各市で独自のグランドデザインを作成
(例：ダンディー市 カウンシル)

CfEの実現に向けた
国の取組
(中心には
CfEの4つの力)

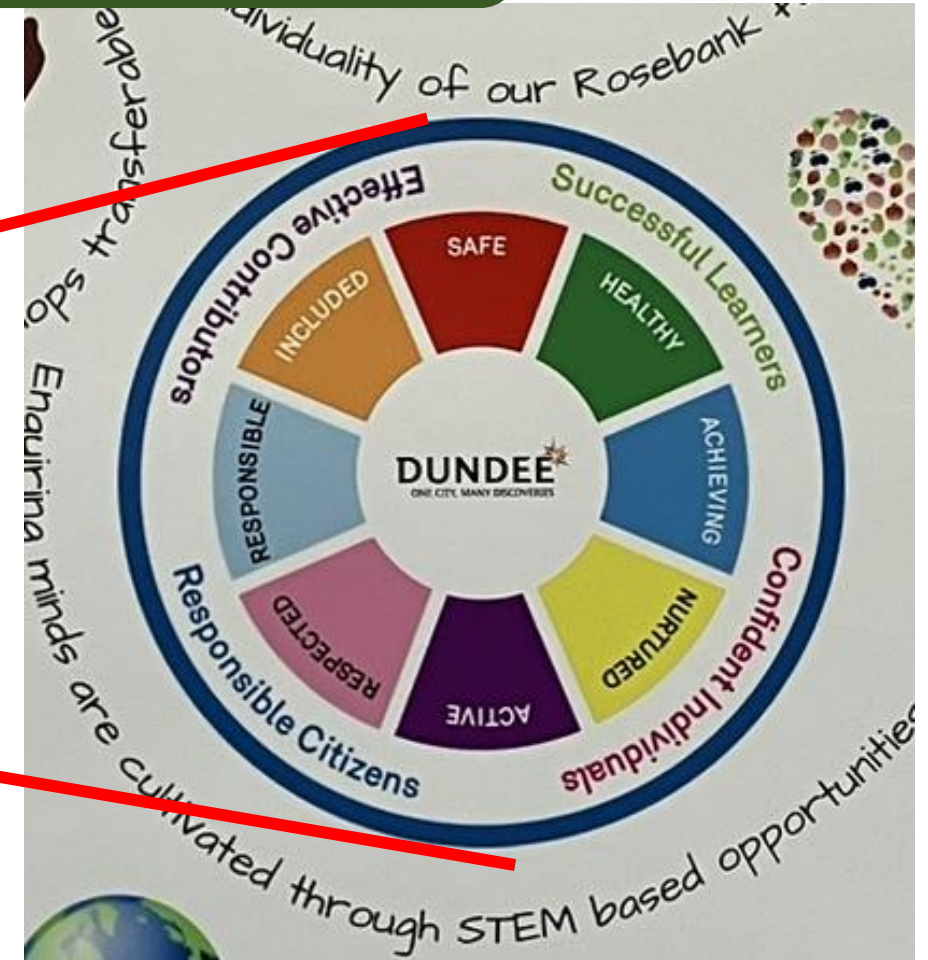


ダンディー市の教育ビジョン
の実現に向けた取組

「私たちのビジョンは、全ての子どもと若者が個人として最高の成果と達成レベルに到達することを目指す質の高い教育的経験を提供することである」
を中心に据えて、その周辺には、そのための手段（教育的支援）が示されている

Scotland 視察等報告

CfE及びダンディー市カOUNシルのグランドデザインをもとに各学校の裁量で独自のグランドデザインやカリキュラムを作成
(例：ダンディー市のローズバンク小学校)



スコットランド教育の概要

- ・教育スタイルは、フィンランドやエストニアなどの北欧諸国と類似しているが、新しいカリキュラムに移行してから十数年とまだ日が浅い。
- ・他の北欧諸国と比べて、新しいカリキュラムに沿った教育を進めていくための教員研修に力を入れたり、旧態依然の教育スタイルをどう変えていったのか、また、その中で具体的にどんな課題が生じてどう対応してきたのかなども把握しやすい。
- ・それぞれの学校が置かれている状況に応じた実践を行えるように、学校長の裁量権が大きい。

Scotland 視察等報告

学校教育の改善に向けた計画を作成
(参考 ブレイス高校)

校長の指導のもと、学校は毎年、教育活動
の改善計画を見直している
(生徒、教師、保護者、地域が関わる)

BRAES HIGH SCHOOL – IMPROVEMENT PLAN 2023/24

Our Improvement Plan is incorporated within the Cluster Improvement Plan, relating to the cluster vision of:

*One Cluster, One Vision – potential and excellence. Our cluster is one which is both **aspirational** and **inclusive**, **forward looking** yet **mindful** of each school's individual character. **Encouraging** and **nurturing**, our cluster promotes **innovation** and **resilience** through **co-operation** and **collegiality**. Improved learning outcomes for all is our goal, as we all **lead learning**.*



SCHOOL IMPROVEMENT PLAN 2023/24

Self-evaluation

- Review High Level improvement plan
- Review SQA results and achievement awards
- Faculty/Team Annual Review process
- ERD
- Feedback from staff, parents and pupils

Consultation

- Consultation with staff via faculty consultation meetings
- Consultation with pupils via Pupil Council
- Consultation with parents via the Parent Council
- Consultation with focus groups of staff, parents and pupils
- Consultation with our local community

Influencing External Factors

- National Improvement Framework
- HGIOS4 and HGIOurs4
- Learning to Achieve
- Children's Services
- Local improvement priorities

Final SIP

- Draft issued for consultation
- Planned outcomes agreed for operational plans
- Final SIP - published
- Operational plans agreed

改善の具体的な取組 （参考 ブレイス高校）

学校のプライオリティ（優先事項）

1. すべての学習者の成果をさらに向上させること
2. 学びの提供のさらなる向上
3. リーダーシップと改善アプローチのさらなる強化

学校のプライオリティは2022年度、2023年度に変更はなし
ただし、具体的な達成目標は年度ごとに見直している（次のスライド）

改善の具体的な取組 （参考 ブレイス高校）

学校のプライオリティ（優先事項）

優先事項 1-a

2022
|
2023

健康とウェルビーイングに引き続き焦点を当て、特にメンタルヘルスとレジリエンスの構築に集中する。さらに、スタッフと生徒が健康とウェルビーイングの指標の全ての側面を理解し、参加するための取り組みを進める。

年度ごとに達成目標は見直す（生徒、教師、保護者、地域が関わる）

2023
|
2024

健康とウェルビーイングに引き続き焦点を当て、特にメンタルヘルスとレジリエンスの構築に加えて、スタッフと生徒が健康とウェルビーイングの指標全般に関与することを重視する。これには、**自閉症やADHDなどのニューロダイバージェントな学習者への支援も含まれる。**

授業の様子①

教師による一斉指導 → 個別の指導

肖像権の都合により写真は非表示

肖像権の都合により写真は非表示

クレイギー高校

授業形態は日本と比べて特別大きな違いはない

授業の様子②

トフィチェン小学校

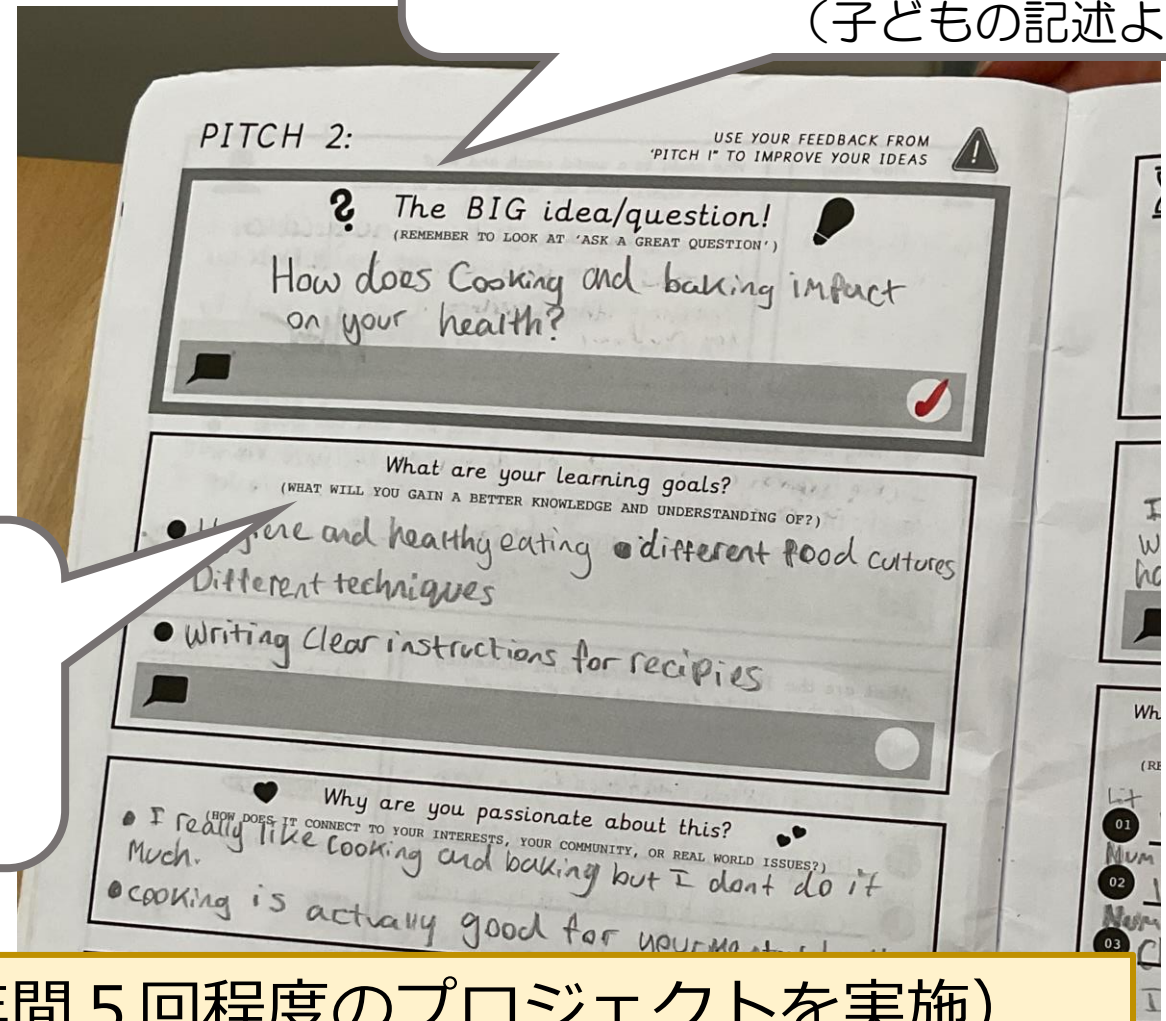
肖像権の都合により非表示

あなたの学びのゴールは何ですか

- ハギス（スコットランドの伝統的料理）と健康的な食事
- 異なる食文化
- 異なる調理法など

大きな疑問

「料理と焼き菓子作りは健康に
どのように影響するだろうか」
(子どもの記述より)



小学生の段階から探究活動が多い（年間 5 回程度のプロジェクトを実施）

授業の様子③

興味のある本を、快適な場所で

肖像権の都合により写真は非表示

ローズバンク小学校

教室から離れた子どものパーソナルスペース



ウォレストーン小学校



ローズバンク小学校

- ・子どもは自分で学びをつくる（学びの場から離れることも保障されている）
- ・学習環境も含めて、個に応じた支援・配慮がなされている

授業の様子④

子どもの興味関心にあわせて
地域のボランティアを活用

肖像権の都合により写真は非表示

トフィチェン小学校

生徒の興味に応じた幅広い選択授業

肖像権の都合により
写真は非表示

クレイギー高校

肖像権の都合により
写真は非表示

フレイザーバラ中等学校

- ・ 初等学校、中等学校を通じて「**地域の子どもを地域で育てる**」意識が強い
- ・ 中等学校は原則、居住地区の学校に進学（生徒の進路に幅広く対応した多様な選択授業）

スコットランド教育庁より

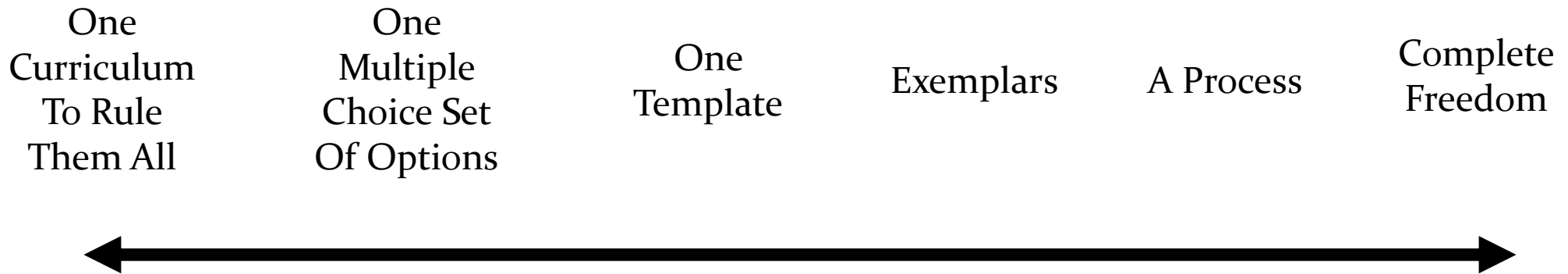
CfEを示したことにより学校・教員の裁量が増えた

↓
改革の当初は、自由度が増えたことを喜んでいたが、マニュアルを示して欲しいという声も一部あがってきた

↓
学校に自由な裁量があることの重要性を説きつつ、CfEにおける教育改革は地道な努力も必要

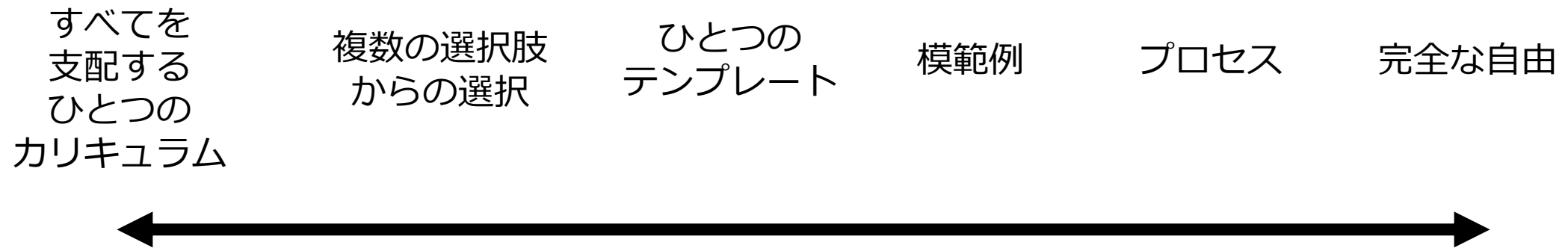
↓
自治体と協力しながら情報提供、教員研修を実施

スコットランド教育庁資料（教員研修）



Where feels comfortable for you?
Where feels right for the learners?
Where does the 'system' make you feel is the reality?

スコットランド教育庁資料（教員研修）



どこがあなたにとって居心地が良いと感じますか？
どこが学習者にとって適していると感じますか？
システムはどこが現実的だと感じますか？

左側に向いてしまう思考を右側に寄せていけるように
教育行政と現場におけるギャップをうめる目線合わせに使用

小学校の校長先生と子どものやり取り

肖像権の都合により
動画は非表示

【会話要旨】（トフィチェン小学校にて）

- ・ 教師が、子どもが作ったものの説明を求めた。
- ・ 子どもは、ショッピングセンターとエベレスト山を作った。
- ・ エベレスト山の方がショッピングセンターよりも小さい。
- ・ 移動はテレポーターションで行い、中心にはブラックホールもある。
- ・ そこにクモやアリが訪問し、去っていった。
- ・ 校長先生が、この活動から得たスキルは何かと尋ねると
「クリエイティビティー（創造性）」
「クリティカルシンキング（批判的思考力）」
「コラボレーション（共同協力）」と子どもたちは答えた。

幼い頃から活動後には振り返りを行い、そこから得たものを実感させていた

まとめ（参考となった点）

1. カリキュラムフォーエクセレンスを教育関係者だけでなく、保護者や子ども自身、地域も含めたスコットランド国内全体の共通理解としている。
2. その共通理解のもと、カリキュラムフォーエクセレンスの目指す4つの姿を育むために、学校、家庭、地域が協力して支援するとともに、学校教育活動の見直しを関係者全体で行っている。
3. 個別学習、選択授業、探究活動など、個々のニーズに応じた支援をしている。
4. バディ制やハウス制、パーソナルスペースの確保など、子ども一人一人を尊重した校内体制や学習環境を提供し、教育を最大限に受けられる枠組み、仕組みがある。
5. カリキュラムフォーエクセレンスに基づく教育改革において、学校や教員が主体性を発揮できるように、国、自治体、学校が連携を取りながら情報共有や教員研修を実施し、改革を進めている。